

大森薬局 新入職員ニュース 2024

今年は1月に1人、4月に1人、薬剤師が入職しました！
大森薬局で働き始めてのインタビューを行いました！

Q1 大森薬局を選んだ理由は？

岩田：地域に根ざした診療所の門前薬局であること、多くの診療科の処方を受けていること、見学にきて雰囲気よかったことが決め手でした。また、訪問薬剤師としての取り組みも多く行っており、これからの地域医療を担う薬局だと思い入社しました。

野田：大森薬局は、様々な科から処方される処方箋を監査することが出来、自分の薬剤師人生がより豊かになると考えたからです。特に小児科の処方が多く、今後を担う子供たちに適正量かどうか判断する力が求められるので、気を引き締めて仕事に取り組むことが出来ると考えたからです。

Q2 入職後の仕事は順調ですか？

岩田：初めはこれまでの職場との違いに戸惑うこともありましたが、スタッフ全員が優しく教えてくださるのでずいぶん慣れてきました。まだまだ不慣れな点がありますが、早く一人前になれるよう頑張りたいと思っています。

野田：概ね順調であると考えています。ただ、薬剤師の業務を約2か月行い、薬剤師の仕事量の多さに驚くばかりです。まだまだ未熟で、周りの先輩方にご迷惑をおかけしていますが、一つずつ確実に正確に仕事を遂行し、一人前の薬剤師になりたいと思っています。



03 ここ最近で印象に残ったことは？

岩田：電話で薬と体調の相談を受けたことです。市販薬で様子を見つつ病院にも受診してもらうようお伝えしたのですが、受診後の処方箋を持ってきてくださりあの時はありがとうございますと言われてもらえ、嬉しさややりがいを感じました。

野田：ゾルピテム錠を服用している患者さんに、もう少し強い睡眠薬に変えてもらえないかしら？という質問を受けました。私は、ゾルピテム錠はふらつきが少ないため、転倒リスクが低く、骨折による入院の危険性が低いことを指導しました。その結果、患者さんは納得して頂き、この薬を継続していくことになりました。国家試験の勉強が役に立ち嬉しく思いました。



04 職場の雰囲気は？

岩田：とても良いです。わからないことを質問したときはその場ですぐに優しく教えてくださるので、大きな困りごとはなく働けています。薬局内はいつも明るく、風通しのよい職場だと思います。

野田：業務は日々忙しいが、分からないことや疑問点をすぐに先輩方に質問できる環境が整っていて、働きやすく温かい職場です。また先輩方は視野が広く、困っている人を見かけたらずきに助ける素晴らしい方々です。

05 フライベートについて

岩田：昨年富士山に登るというチャレンジをしてから山登りに興味があります。ゴールデンウィークにはスタッフ3人で高尾山に登ってきました。また今年も富士山に登る予定です。

野田：月1で家族旅行に行き、温泉で日々の疲れを癒しています。また週一で友達と飲みに出かけて、楽しい日々を過ごしています。仕事後はまだ仕事に慣れず、寝ています。



06 将来の薬剤師像について

岩田：薬のお話はもちろんですが、病院にかかるほどではないけど気になっていることを気軽に話してもらえるような薬剤師になりたいです。病院にかかるべきか薬剤師さんに相談してみようと思ってもらえるような存在が理想です。そのために幅広い医療の知識を身につけていきたいです。

野田：私は小さい頃、風邪をひいて薬局に行くことが多かったです。そのため、恩返しをしたいと思い、薬剤師という職業に憧れを抱きました。ここで働いていた薬剤師が優しく安心感がありました。私は一人でも多くの患者さんに安心感を抱いてもらえるような薬剤師になりたいと思いました。

07 薬学生に向けてアドバイスを！

岩田：6年制で実習も長く大変だと思います。私も大変な思いをして卒業しました。しかしその大変さを上回るくらいやりがいのある仕事だと今は思っています。学生生活も楽しみつつ、国家試験に向けて頑張ってください！

野田：私事ですが、一度薬剤師国家試験に不合格となりました。この経験は自分が想像する何倍も辛く、将来の不安が絶えない日々でした。しかし、今はこの経験を乗り越えて充実した日々を過ごしています。失敗は自分の成長する上で必要な経験であり、無駄な経験ではなかったと改めて思います。何事も諦めずに努力をして自分の人生を切り開いてください。応援しています。

